

# みんな！ 待っとなるでな～

## オキナグサ観察会

期日 4月29日(木)  
 定員 30人 ※要予約(1ヶ月前～)  
 料金 大人100円、小中高生50円  
 三瓶山北の原で春風に揺れるオキナグサを観察します。三瓶の草原や林をのびり歩く、気軽な自然観察会です。  
 [問] 島根県立三瓶自然館サヒメル  
 ☎ 0854-86-0500  
<http://nature-sanbe.jp/sahimel/>



## 埋没林フェスティバル



期日 5月2日(日)  
 時間 10:00～15:00  
 場所 三瓶小豆原埋没林公園  
 料金 入場料(大人300円、小中高生100円)  
 神秘的な空間、4千年前の地底の巨木林で神楽を上演します。  
 [問] 三瓶小豆原埋没林公園  
 ☎ 0854-86-9500  
<http://nature-sanbe.jp/azukihara/>

## たかのじ 高野寺・つつじ祭り

期日 5月5日(水)  
 場所 高野寺(温泉津町井田)  
 約1,000本のつつじが咲き誇り、来訪者の目を楽しませてくれます。  
 [問] 高野寺  
 ☎ 0855-66-0043

## 酒仙蔵人・五郎之会 酒米の田植え

期日 5月8日(土) 予定  
 場所 温泉津町西田地区の水田  
 棚田とヨズクハデ景観の保全に燃える同会の田植えが行なわれます。飛び入り参加も大歓迎！  
 [問] 若林酒造(有)  
 ☎ 0855-65-2007

## 大田市小学校連合運動会

期日 5月15日(土)  
 場所 大田小学校校庭  
 市内21校から、約1,000人の児童が参加!!



## クリーン三瓶

期日 5月16日(日)  
 場所 三瓶山西の原  
 三瓶山西の原一帯を中心とした清掃活動です。国立公園三瓶山をみんなできれいにしよう！  
 [問] 大田市役所環境衛生課  
 ☎ 0854-82-1600

## カキツバタまつり

期日 5月23日(日)  
 時間 10:00～15:00  
 場所 三瓶山北の原(姫逃池)  
 料金 不要(野点は茶菓代200円)  
 姫逃池に咲き誇るカキツバタを鑑賞し、野点などを楽しめます。  
 [問] 島根県立三瓶自然館サヒメル  
 ☎ 0854-86-0500  
<http://nature-sanbe.jp/sahimel/>



# おおだ情報BOX

## 三瓶山西の原火入れ（通称「野焼き」）

期日 3月13日(土)  
場所 三瓶山西の原  
三瓶山の防火対策と草原の維持再生を目的に毎年この時期に行われています。大草原に立ち上がる炎は見る者を圧倒し必見です。  
※見学自由  
[問] 産業振興部農畜産振興担当  
☎ 0854-82-1600 (内線251)



## 春のやきもの祭り

期日 4月17日(土)・18日(日)  
場所 温泉津やきもの里  
国内最大級の登り窯の窯出し(18日)や即売が行われます。陶器のほかにも、市内の特産品が盛りだくさん！  
[問] 温泉津 やきもの里 やきもの館  
☎ 0855-65-4139  
<http://www.yunotsu.org/>

## 創作音楽劇『琴の鳴る浜』

期日 3月14日(日)  
場所 大田市民会館大ホール  
開演 14時(開場13時30分)  
入場料 全席自由  
前売り: 一般 1,000円  
高校生以下 500円  
※当日券は200円UP  
ふるさとの伝説を音楽と劇で舞台化！  
総て地元で創る舞台です。  
[問] 大田市民会館  
☎ 0854-82-0938

## 春の彼岸市「中日つあん」

期日 3月21日(日)・22日(月)  
場所 大田市駅通り  
大田市民会館駐車場など  
昔は、農民の日用品の交換・農具市・牛馬市などが主でしたが、現在では、植木市なども出店し、約2kmにわたって300近い露店が並びます。  
[問] 大田商工会議所  
☎ 0854-82-0765

## 早春の男三瓶山を歩く

期日 4月25日(日) 予定  
場所 男三瓶山  
定員 50人 ※要予約(1ヶ月前～)  
春を迎えた男三瓶山頂を目指す登山。ギフチョウやヤマエンゴサクに会えるかも。男三瓶山山頂で行われる山開きにあわせて、早春の自然林に咲く植物や生き物を観察しながらゆっくりと山頂をめざします。  
[問] 島根県立三瓶自然館サヒメル  
☎ 0854-86-0500  
<http://nature-sanbe.jp/sahimel/>



11月5日(木)、6日(金)「交流から始まる新たな感動—都市と田舎の融合—」をテーマに全国水源の里シンポジウムが大田市民会館で開催されました。

全国各地から、過疎地域に共通する課題に取り組む、住民、研究者、自治体関係者約650人が集い、農地や森林の保全や新たな地域運営の担い手になりうる交流人口、定住人口に増大の実践を議論し、全国にアピールしました。

基調講演では、国際日本文化研究センターの安田喜憲教授が「石見銀山は世界に開かれていた」と題して講演。稲作を中心に栄えてきた文明が『豊かな水源の里』を守り続けてきた歴史を紹介し、21世紀に入り地球温暖化防止に向けた低炭素社会実現の時代を迎え、「最も大切なことは、森の文明によって育まれた日本人が、未来に向けて一層の認識を深めなければならない」と語られました。

事例報告では、山本光則さん((財)育てる会関西事務局長)さんが「大田市の山村留学の取り組み」と題し、全国から集まった学園生が、自然豊かな三瓶での日々の生活の中に目標を見出すなど、充実し

た生活についての報告がありました。このほか様々な課題に取り組む竹下美智子さん(川本町・エゴマ栽培農家)、西嶋二郎さん(美郷町・農事組合法人ひじきドリーム代表)、石橋由岐子さん(邑南町・農家民宿「やまぼうし」経営)が、日頃の活動を紹介されました。

続くパネルディスカッションでは、「時代に対応した新たな過疎対策～水源の里こそ日本のふるさと」をテーマに、経済産業省の岸本吉生さんがコーディネーター、総務省の椎川忍さん、国際連合大学ゼロエミッションフォーラムの竹林征雄さん、NPO法人「結まーるプラス」理事長かわべまゆみさんの3名がパネラーとして参加。「過疎地域の活性化には人間力と地域資源の活用が大切」など、活発な意見が交わされました。

最後に、過疎対策を国全体の課題として捉え、財源を国に強く求めていくことなどを大会アピールとして決議しました。



6日(金)事例報告された4人のみなさんのもとを現地視察写真は、農家民泊「やまぼうし」(邑南町)

【問い合わせ】大田市役所地域政策課  
☎0854-82-1600 内線211